

# 政府の震災対応はゼロ!パー券で頭がパー?

元旦の能登半島地震には驚きましたね。能登半島の先端の海岸に沿った断層が動き、4mも隆起したとか。政府は情報収集衛星により能登の被害は一日で分かった筈。衛星には一兆四億円かけ十六も運用している。「敵に性能が分かるから国民にも見せない」と云って土砂崩れや津波被害の衛星画像さえ国民に見せない。

道路寸断情報も無く、五日になっても椅子をSOSに並べ救援を求めめる状態。老人施設や医療機関は断水に停電で暖房も出来ない。政府は孤立している集落、老人施設、医療機関に全く手を打っていない。

地震をよそに陸上自衛隊落下傘部

隊は七日にヘリや戦車を使い習志野で大演習。そんな事をしていない。ヘリで衛星電話を届け、落下傘で降り、被害地域の応援をすれば良い。憲法九条があるから日本は戦争をしない。自衛隊の医療チームは全部能登に振り向けられる筈。

## 軍事予算を対策に

米国に云われて武器を爆買いする予算を災害対応に使うべきだ。40フィートコンテナは八畳二間分。各地で1Kの内装をして運べば即仮設住宅にできる。土砂崩れで埋まった道や鉄道を国費で直し、壊れた建物の補修や再建を国費で賄えば国民の為に、日本経済の再建に通じる。

あなたは どう思われますか?

## 坪呑公園

横浜市磯子区杉田坪呑

二〇二四年一月



先週は休みました

坪呑公園は坪呑団地のすぐ南にある。京急杉田駅から南へ1km、JR根岸線の南だ。ここは古くから水が乏しく大きな溜池が必要だった。その為「坪」即ち農地を溜池が「呑んでしまう」ので「坪呑」と呼ばれたそうです。この地には周囲二百mの池があった。その南には五、六階建てを見上げるような崖。そこからの湧水が池に流れ込み底なし沼と呼ばれていたと云う。

一九八四年、団地建設の際、池は埋め立てられたが、自然を保存する運動が実り、一部は「坪呑公園自然生態園」となった。自然保護の為、絵にあるように高い金網で囲まれている。自然生態園を潤した湧水は小さな滝として流れ出て、公園の端のせせらぎとなっている。

自然生態園を潤した湧水は小さな滝として流れ出て、公園の端のせせらぎとなっている。

